

証券コード：9412

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス



2023年3月期 第3四半期

決算説明会

2023年2月1日

将来の見通しに関する記述



本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク



新領域に2,000億円以上の投資を予定

SPACE

新技術の活用と
事業領域拡大

1,500億円
以上

既存
衛星通信



Universal NTN

光データ中継

ビジネスインテリジェンス

2030年セグメント利益目標 210億円

MEDIA

映像体験を超える
新領域への進出

500億円
以上

衛星放送
/FTTH



コネクテッドTV

メディアソリューション

コンテンツデータベース

リアル事業

2030年セグメント利益目標 50億円

サステナブルな成長

2030年に当期純利益250億円超を目指す

2023年3月期 第3四半期連結業績概要

連結業績概況



- 営業収益、利益とも通期予想に対して計画通りに推移
- 純利益減少は、前年度発生した税金費用減少 9 億円の剥落等の影響

(百万円)

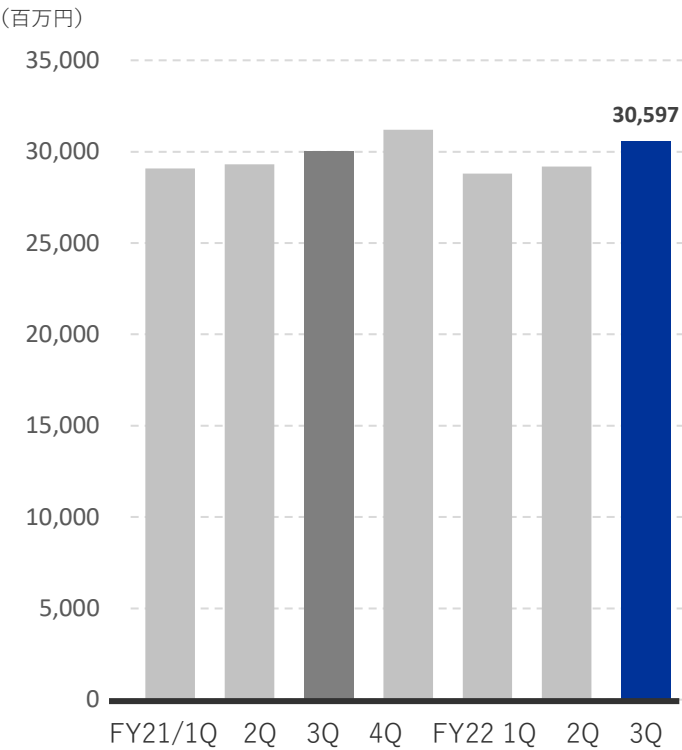
	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	増減率	2022年度 通期業績予想	進捗率
営業収益	88,436	88,594	+ 0.2%	120,000	73.8%
営業利益	16,256	16,714	+ 2.8%	21,000	79.6%
経常利益	17,401	17,125	△1.6%	21,500	79.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,653	11,386	△10.0%	15,000	75.9%
EBITDA *	35,572	33,696	△5.3%	44,400	75.9%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息。

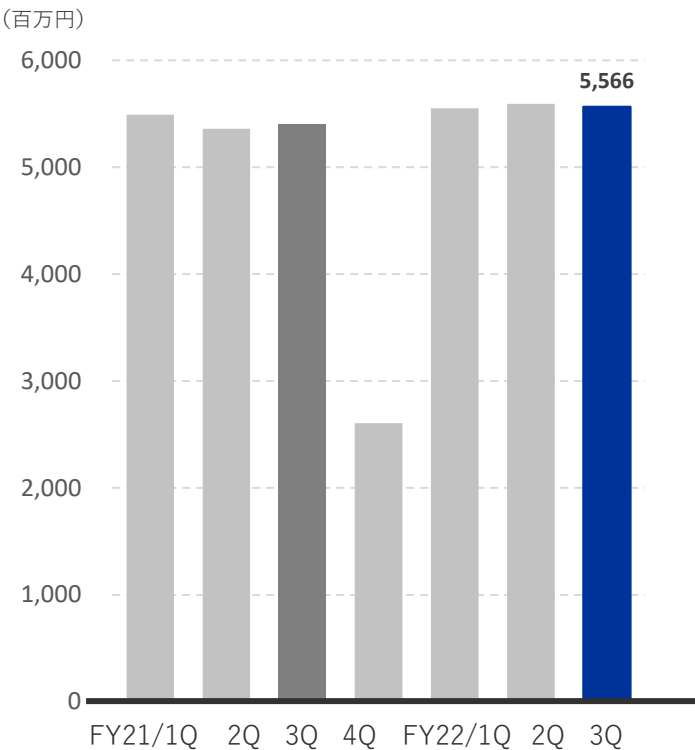
四半期連結業績推移（FY2021/1Q – FY2022/3Q）



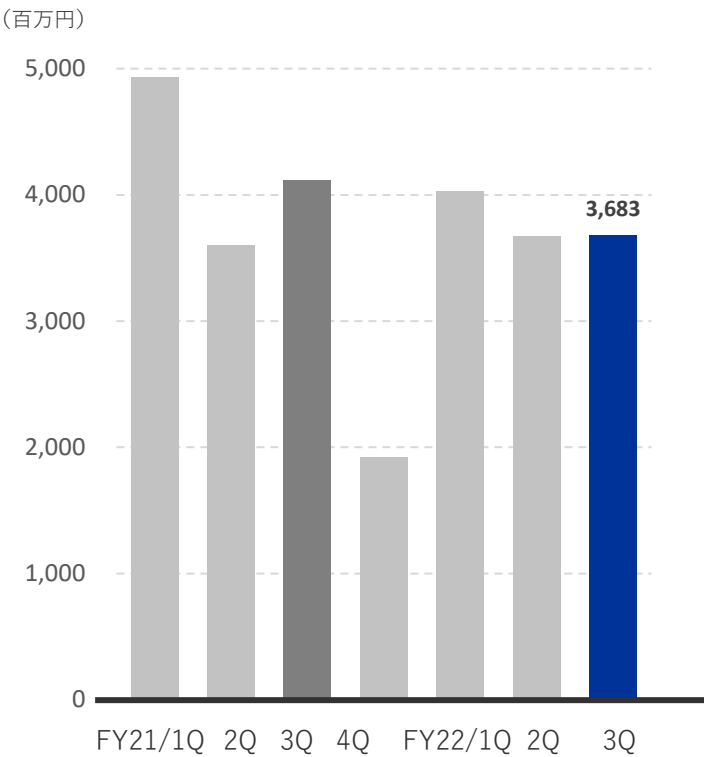
営業収益



営業利益



四半期純利益



セグメント別業績概況：宇宙事業



- 放送トラポン収入が減少した一方、JCSAT-1C、Horizons 3e等の利用拡大により増収
- 減価償却費・のれん償却額の減少により営業利益は増加

営業収益

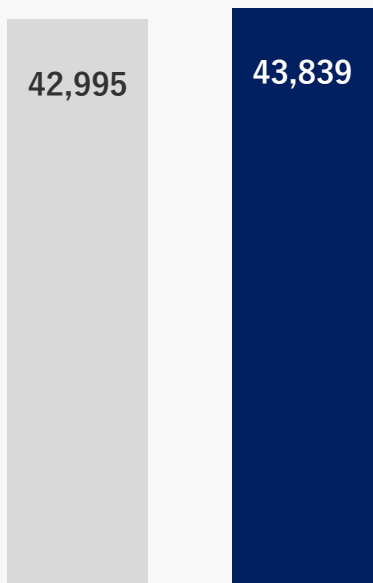
(百万円)

営業利益

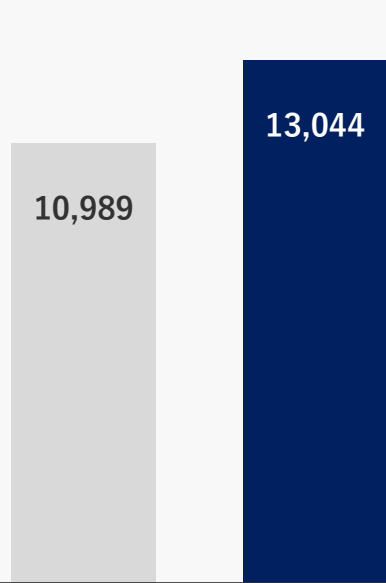
(百万円)

セグメント利益*

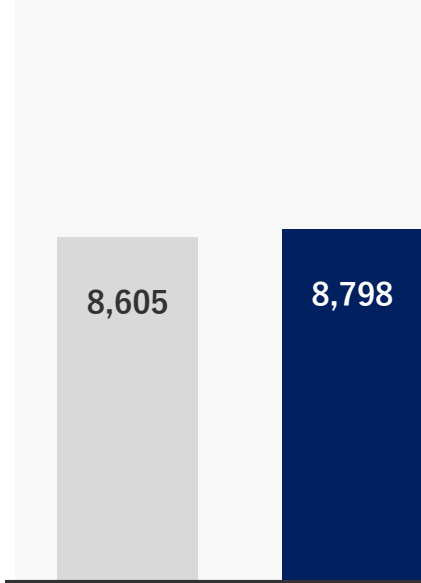
(百万円)



2021年度 3Q累計 2022年度 3Q累計



2021年度 3Q累計 2022年度 3Q累計



2021年度 3Q累計 2022年度 3Q累計

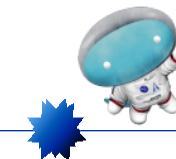
主な増減要因（前年同期比）

- **営業収益 4 3 8 億円（+ 8 億円）****
 - ・ グローバル・モバイル分野：+ 2 2 億円
 - ・ 放送トラポン収入の減少：△ 5 億円
 - ・ その他：△ 9 億円
- **営業費用 3 0 8 億円（△ 1 2 億円）****
 - ・ 減価償却費：△ 5 億円
 - ・ のれん償却額の減少：△ 6 億円
 - ・ その他：△ 1 億円
- **営業利益 1 3 0 億円（+ 2 1 億円）**
- **セグメント利益 8 8 億円（+ 2 億円）**
 - ・ 連結子会社の解散に伴う税金費用減少の剥落：△ 9 億円

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

セグメント別業績概況：メディア事業



- FTTH事業収入増加の一方、累計加入件数の減少により減収
- 減価償却費等減少の一方、販促関連費用の増加等により費用増加

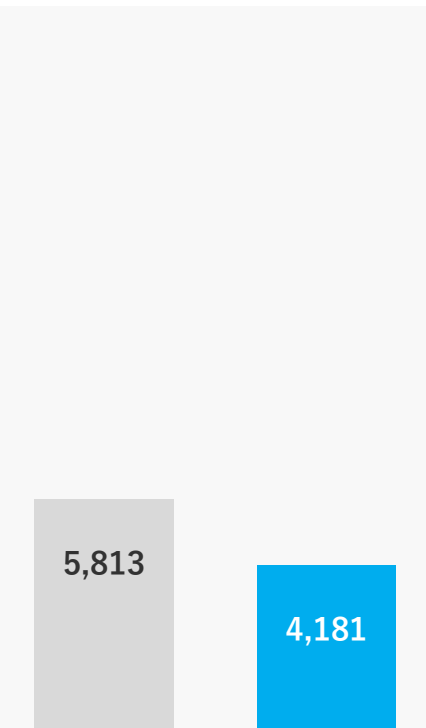
営業収益

(百万円)



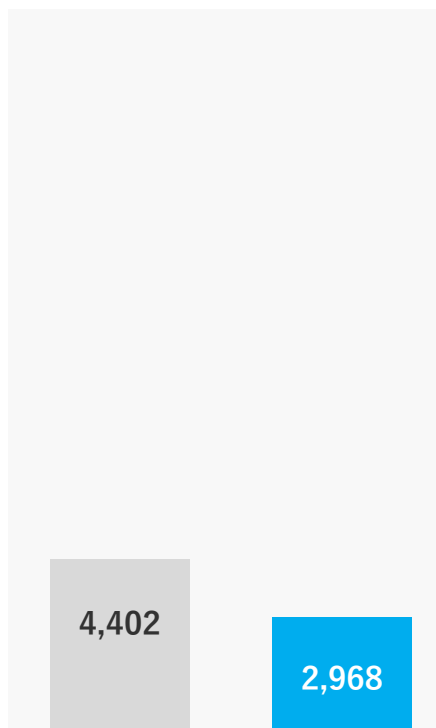
営業利益

(百万円)



セグメント利益*

(百万円)



主な増減要因（前年同期比）

- 営業収益 5 2 1 億円（△ 1 1 億円）**
 - ・ 視聴料・業務手数料・基本料収入の減少：△ 2 0 億円
 - ・ FTTH事業収入の増加：+ 2 億円
 - ・ その他：+ 7 億円
- 営業費用 4 7 9 億円（+ 5 億円）**
 - ・ 販促関連費用（配信等含む）の増加：+ 5 億円
 - ・ 減価償却費の減少：△ 3 億円
 - ・ コンテンツ費用の減少：△ 2 億円
 - ・ その他：+ 5 億円
- 営業利益 4 2 億円（△ 1 6 億円）
- セグメント利益 3 0 億円（△ 1 4 億円）

2021年度
3Q累計

2022年度
3Q累計

2021年度
3Q累計

2022年度
3Q累計

2021年度
3Q累計

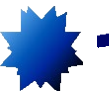
2022年度
3Q累計

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

トピックス

— 成長に向けた取り組み —



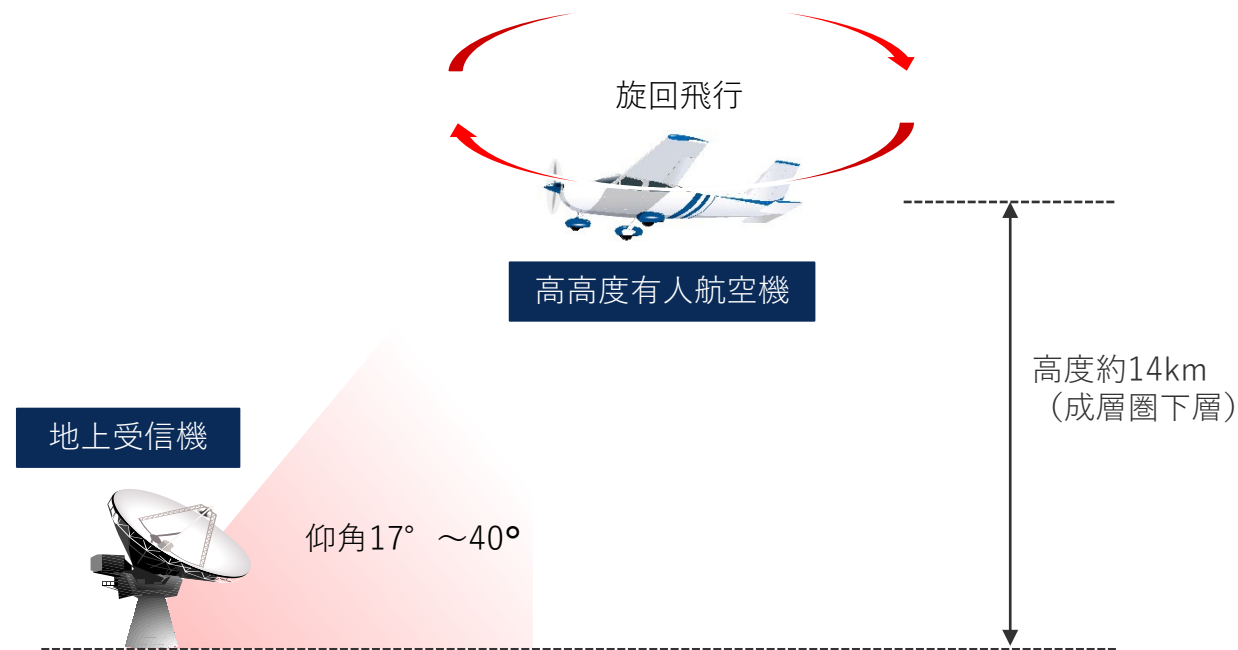


スカパーJSAT、NTTドコモ 世界初、成層圏下層から38GHz帯の電波伝搬実験に成功

- 成層圏から地上の固定局への通信サービス提供の実現可能性を実証
- Space Compassと連携してHAPS事業の実現を目指す



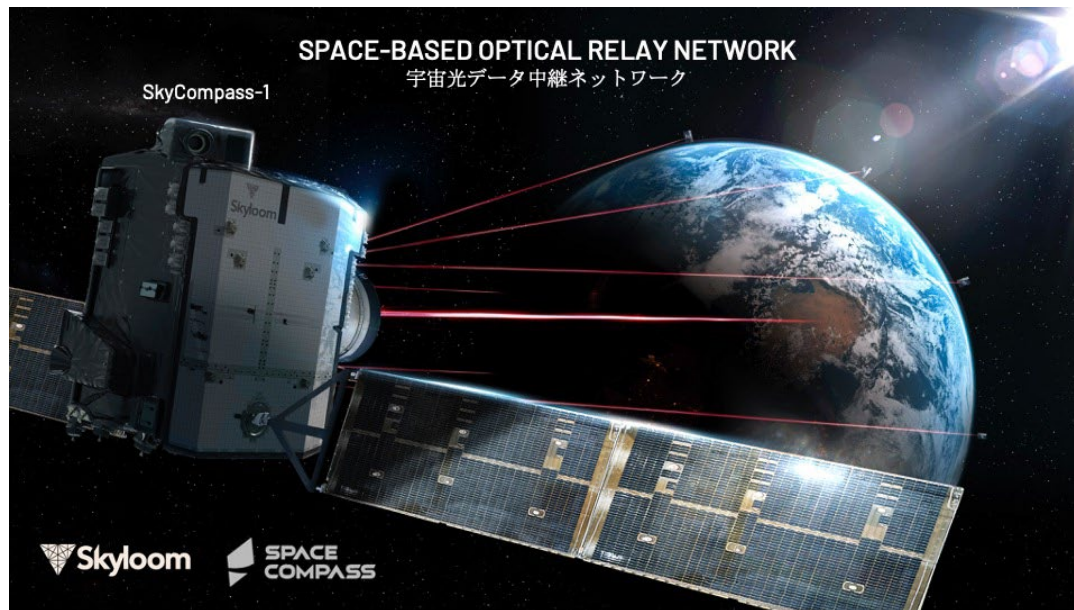
実験で使用した有人航空機



伝搬試験の構成図

Space CompassとSkyloom Global Corporation 地球観測市場向け光データリレーサービス提供の協業に正式合意

- 2023年1月、共同事業契約を締結
- 2024年中に、アジア上空の静止軌道（GEO）に初号機『SkyCompass-1』を打ち上げ
- グローバル展開に向けGEO衛星コンステレーション構築の検討を推進



防衛三文書

国家安全保障戦略

国家防衛戦略

防衛力整備計画

<宇宙安全保障に関わる方針>

- ① 宇宙利用の強化
- ② 宇宙領域の安定的利用に対する脅威への対応
- ③ 宇宙産業の支援・育成

防衛費5カ年 43兆円
宇宙関連 1兆円

宇宙ビジネスの知見を活かし、宇宙から日本を守る

衛星を用いた宇宙からの情報収集

宇宙の状況把握

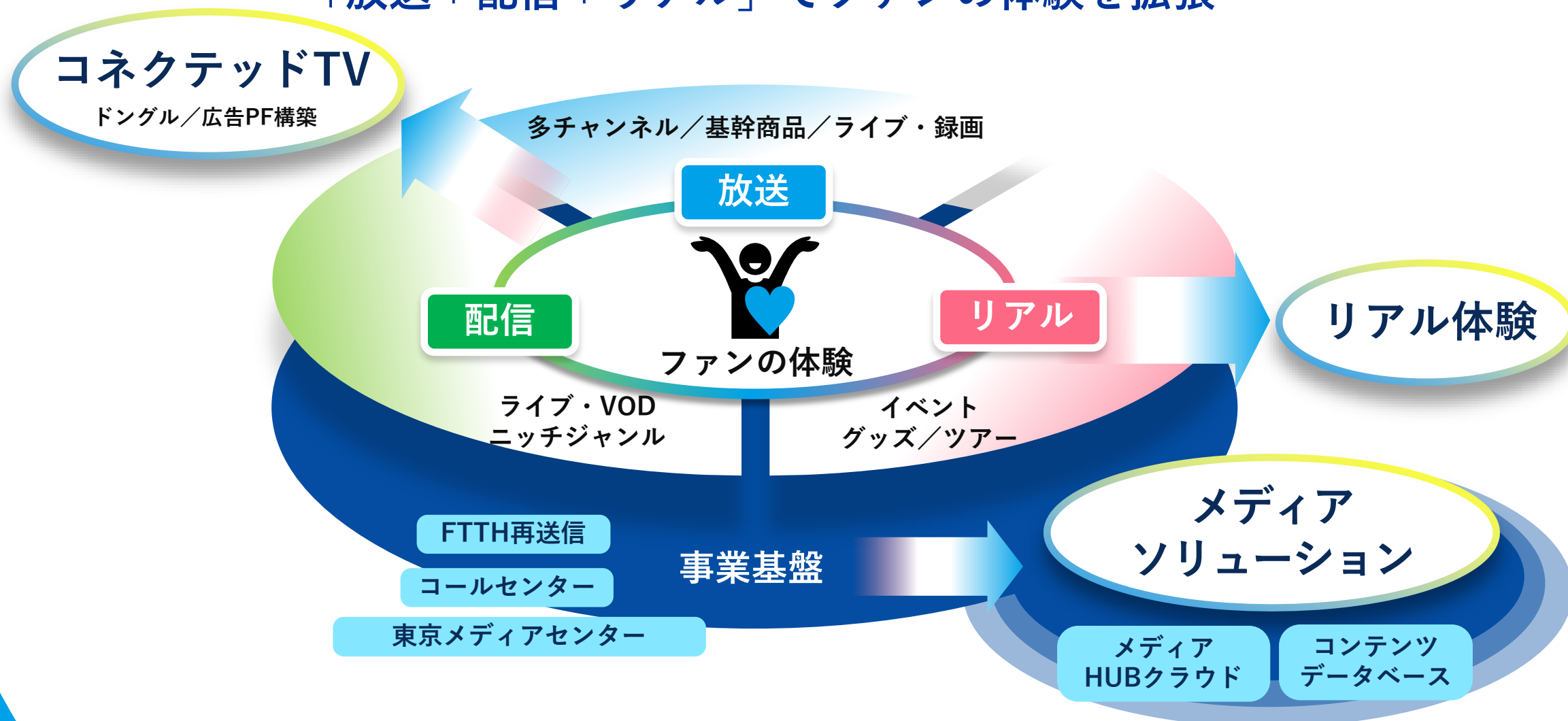
当社の
貢献分野

衛星コンステレーション構築

衛星含む宇宙システムの抗たん性※強化

※宇宙システムの機能を継続的かつ安定的に利用できる能力

「放送 + 配信 + リアル」でファンの体験を拡張



放送に配信の利便性をプラスし、外出先でも視聴可

プロ野球（3/30 開幕）



- ・ 全12球団の公式戦の放送・配信
- ・ スカパー！番組配信でネットでも生中継を視聴可能
- ・ 様々な機能を搭載した「プロ野球セットアプリ」を使って、充実のプロ野球ライフを
- ・ U-30割引キャンペーン開始
- ・ 「プロ野球ニュース」など、プロ野球関連番組も盛りだくさん

ドイツ ブンデスリーガ



- ・ カタールW杯に出場した日本人選手の活躍が見られる
吉田 麻也選手（シャルケ04）
遠藤 航選手（シュトゥットガルト）
浅野 拓磨選手（ボーフム）
鎌田 大地選手（フランクフルト）
板倉 滉選手（ボルシアMG）
堂安 律選手（フライブルク）
伊藤 洋輝選手（シュトゥットガルト）

※1/30時点の所属

2023 WORLD BASEBALL CLASSIC™ (3/8 開幕)
1次ラウンド～準々決勝まで39試合をJ SPORTSで生中継
(侍ジャパン全試合、準決勝・決勝は4月に録画放送)



上段

左：サンディ・アルカンタラ選手（ドミニカ）

中：大谷 翔平選手（日本）

右：ホセ・アルトゥーベ選手（ベネズエラ）

下段

左：ブラディミール・ゲレーロJr.選手（ドミニカ）

中：クレイトン・カーショー選手（アメリカ）

右：エドウィン・ディアス選手（プエルトリコ）

幅広いジャンルのイベントを開催

MEDIA

リアル



放送 + 配信 + リアル（イベント興行・グッズ販売）でファン体験を拡張



FTTH再送信サービス 提供エリアの拡大

MEDIA

FTTH



2023年2月1日より、
福井県におけるFTTH再送信サービスを提供開始
今後も更なる提供エリア拡大を予定

- 提供可能世帯数：4,265万世帯（36都道府県）
- 世帯カバー率：76.4%（対47都道府県総世帯数）

※昨今の市場環境変化に鑑み、算出元のデータを
固定電話加入契約者数から国勢調査世帯数に変更いたしました。

（これまでの公表提供可能世帯数）
提供可能世帯数：約3,400万世帯／世帯カバー率：約60%

提供エリア：36都道府県

東
日
本

北海道、岩手県、山形県、宮城県、福島県、
東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、
茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県

西
日
本

愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、石川県、富山県、**福井県**、
大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、
岡山県、広島県、香川県、愛媛県、徳島県、
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県



サステナビリティ経営の推進・活動状況



■ 9つの重要課題テーマの実現に向けて、サステナビリティ経営を推進

E：環境

- TCFD賛同を表明（1月）
 - ・ 2022年度よりTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に基づく情報開示を実施
 - ・ TCFDへの賛同を当社サステナビリティサイトにて表明
- 「CDP気候変動レポート2022」において「Bスコア」に認定（12月）
 - ・ 国際環境非営利団体であるCDPから、8段階評価の上位から3番目の「Bスコア」に認定
 - ・ 昨年度「B-スコア」より着実に向上
- 実質再生可能エネルギーの利用比率向上、94%に到達※1（1月）
 - ・ スカパー東京メディアセンターの使用電力を実質的な再生可能エネルギーへ切り換え
 - ・ 衛星管制センターYSCC、SPE、GTC、本社も切り換え済み



※1 2022/12/21付けニュースリリース「スカパーJ S A T スカパー東京メディアセンターの使用電力を実質再生可能エネルギーに転換～脱炭素社会の実現に向けて～」を一部修正
（正）スカパーJ S A T(株)の使用電力（誤）当社グループ全体の使用電力

S：社会

- 女性活躍「えるぼし」の最上位の認定を取得※2（11月）
 - ・ 女性活躍促進の状況が優良な企業として、3段階評価の最上位「認定段階3」を取得
 - ・ 2030年までに女性管理職比率の社員男女構成比相当の達成を目指す

※2スカパーJ S A T(株)

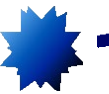


未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

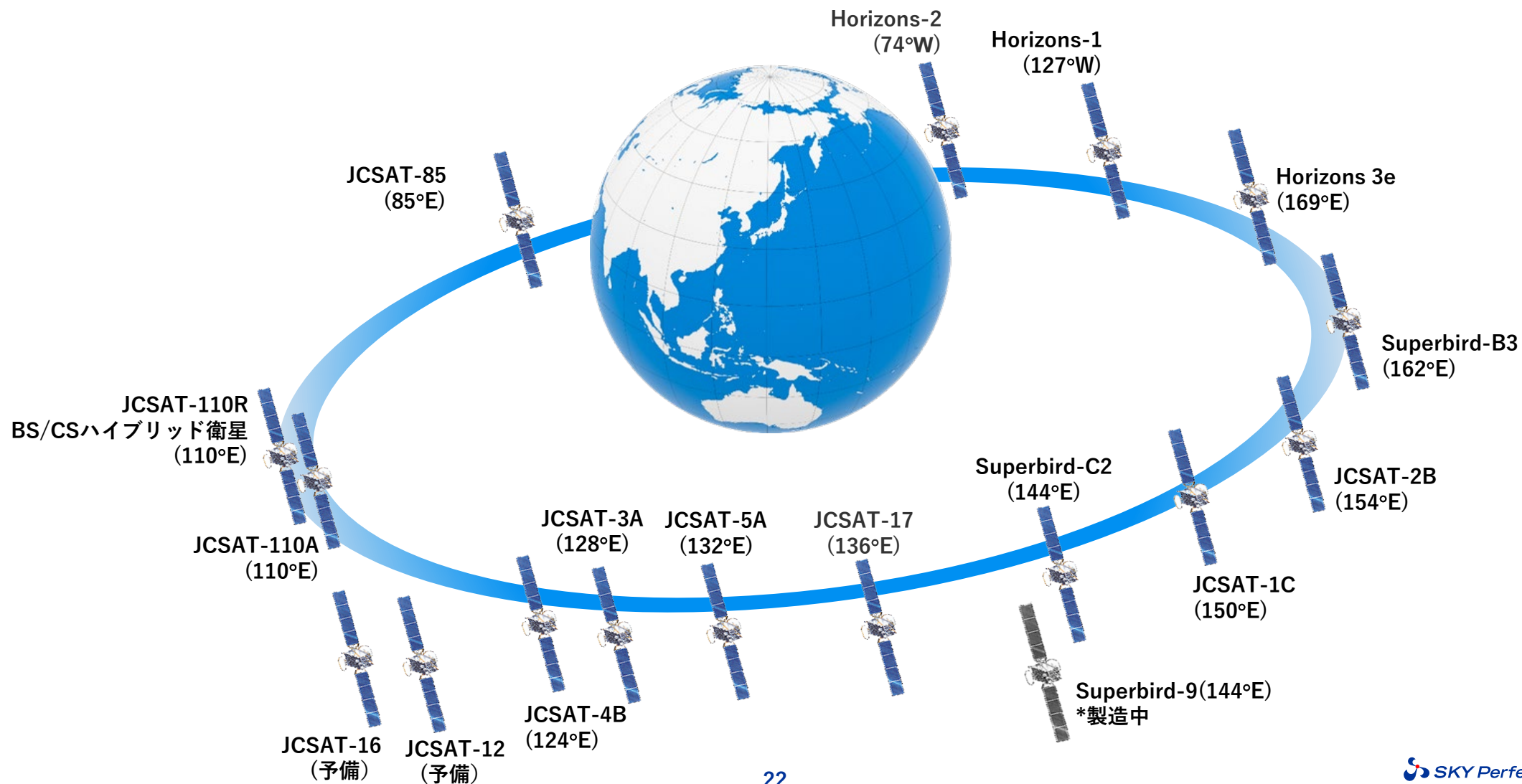
未知を、 価値に。

宇宙実業社
スカパーJSAT

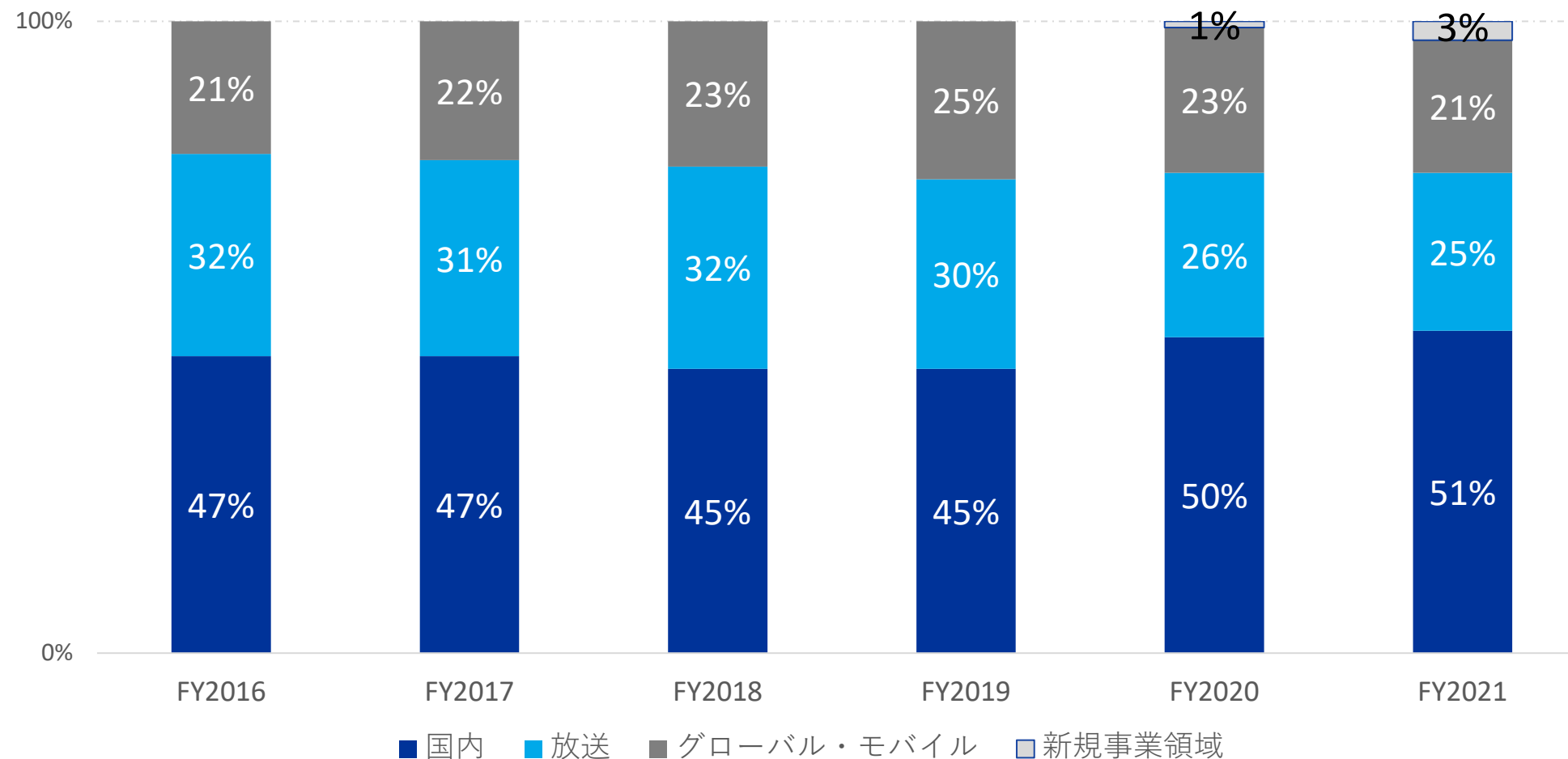
参考資料



北米上空からインド洋上空まで 計16機 の衛星を保有



宇宙事業 営業収益構成比



※2016年度、2018年度の防衛省向け通信衛星売却の影響を除く
※FY2021から収益認識に関する会計基準等を適用

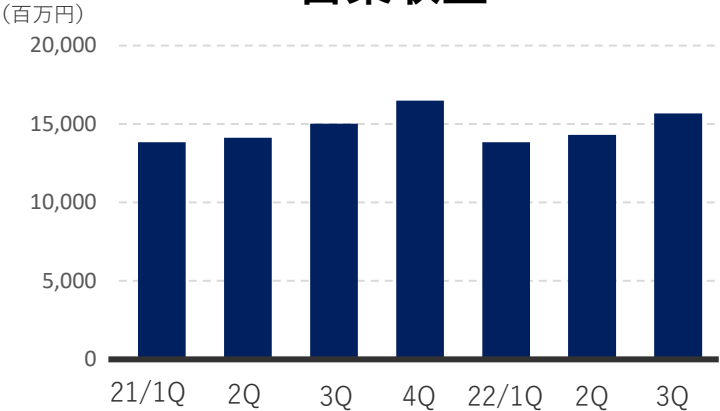
セグメント別四半期業績(2021/1Q - 2022/3Q)



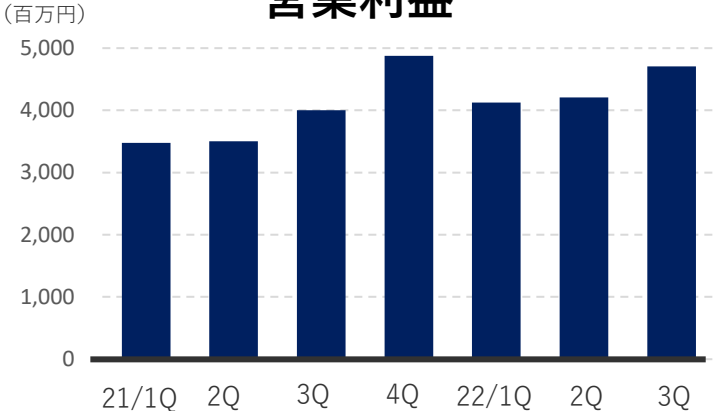
* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。

宇宙事業

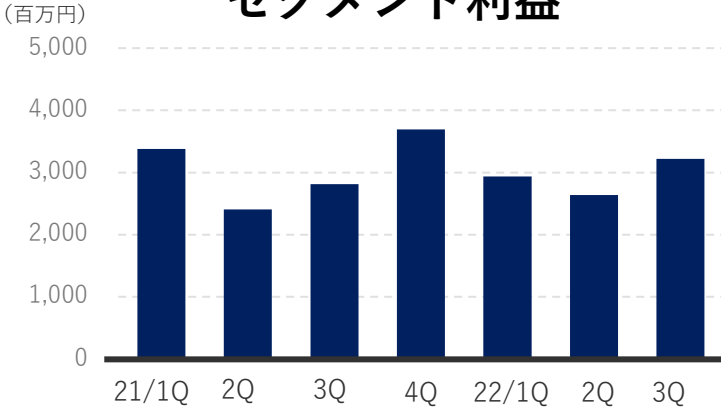
営業収益



営業利益

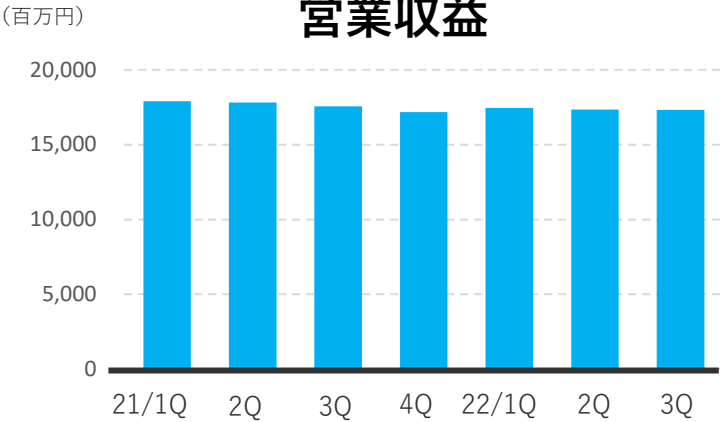


セグメント利益

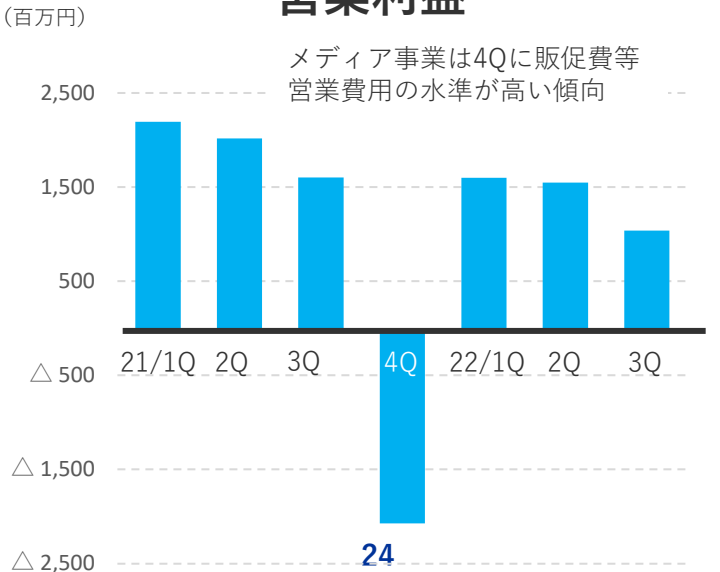


メディア事業

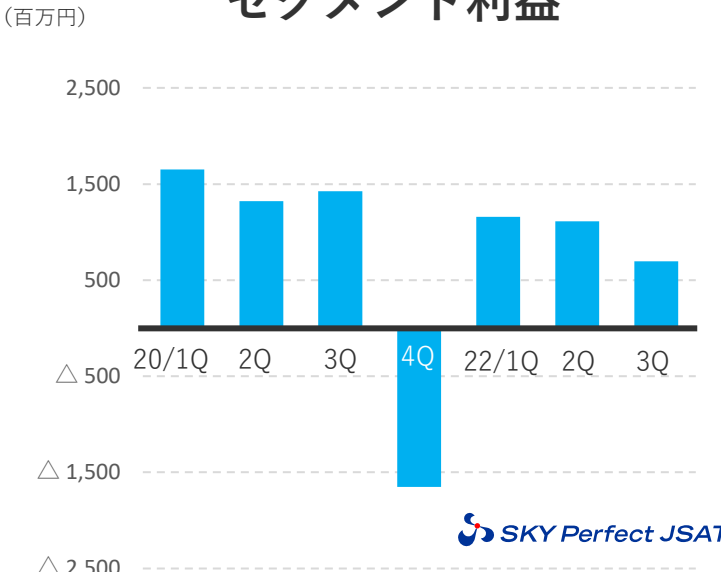
営業収益



営業利益



セグメント利益



セグメント別四半期業績(2021/1Q - 2022/3Q)



対前年同四半期比較

(百万円)

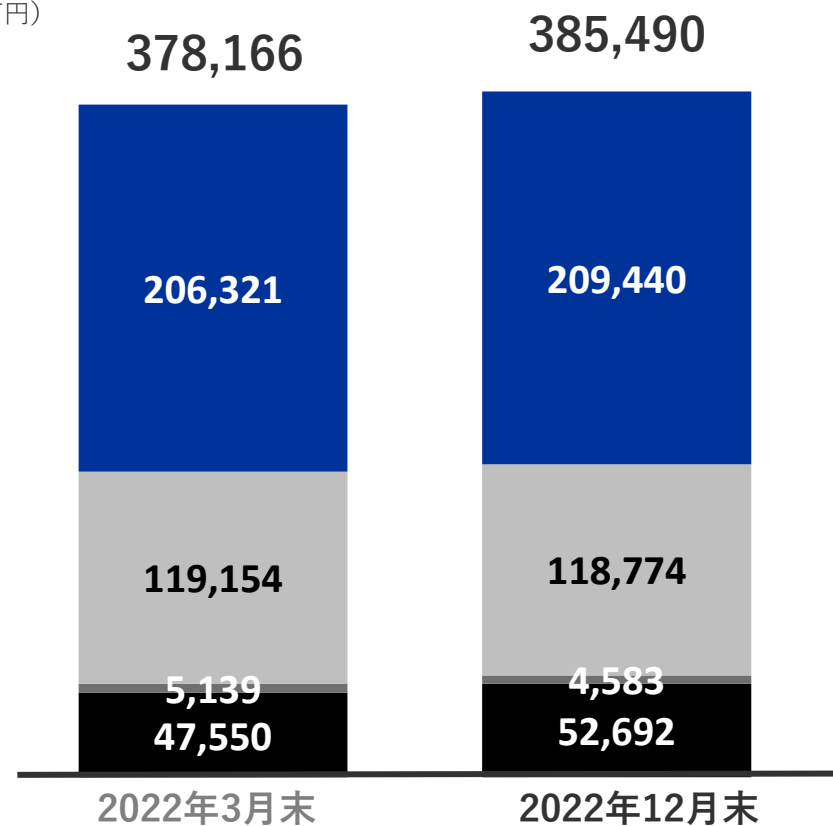
	2021年度					2022年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q
営業収益	29,078	29,311	30,046	31,196	119,632	28,806	29,190	30,597
宇宙事業	13,843	14,121	15,030	16,504	59,500	13,841	14,319	15,677
メディア事業	17,896	17,811	17,557	17,181	70,447	17,463	17,340	17,326
消去又は全社	△2,661	△2,621	△2,542	△2,489	△10,314	△2,499	△2,470	△2,406
営業利益	5,493	5,360	5,402	2,606	18,862	5,551	5,595	5,566
宇宙事業	3,480	3,503	4,004	4,878	15,867	4,128	4,208	4,708
メディア事業	2,193	2,016	1,602	△2,072	3,740	1,598	1,546	1,036
消去又は全社	△181	△160	△204	△200	△745	△175	△158	△178
セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半 期(当期)純利益)	4,929	3,604	4,119	1,926	14,579	4,033	3,669	3,683
宇宙事業	3,380	2,409	2,815	3,693	12,298	2,938	2,637	3,221
メディア事業	1,652	1,323	1,426	△1,653	2,749	1,159	1,113	696
消去又は全社	△103	△128	△121	△113	△468	△64	△81	△234

連結貸借対照表



資 産

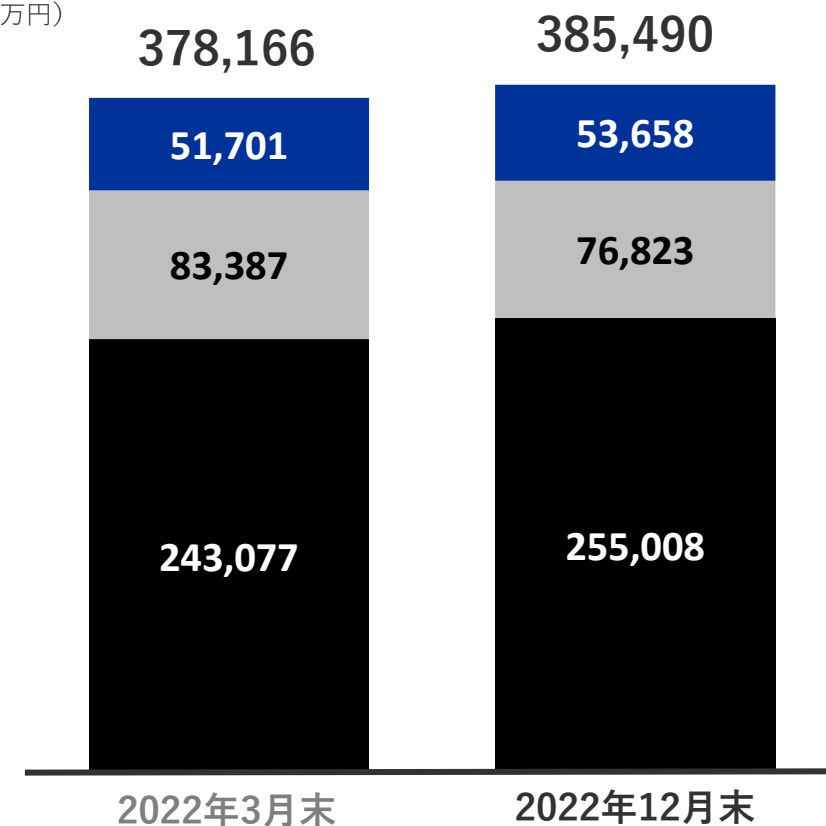
(百万円)



負債・純資産

自己資本比率： 64.0% ➡ 65.8%

(百万円)



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産

流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー



(百万円)

	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,902	42,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,659	△16,923
フリー・キャッシュフロー (*1)	19,243	26,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,523	△18,773
現金及び現金同等物の期末残高(a)	77,158	94,311
有利子負債期末残高 (*2) (b)	84,631	74,575
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	7,473	△19,735

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

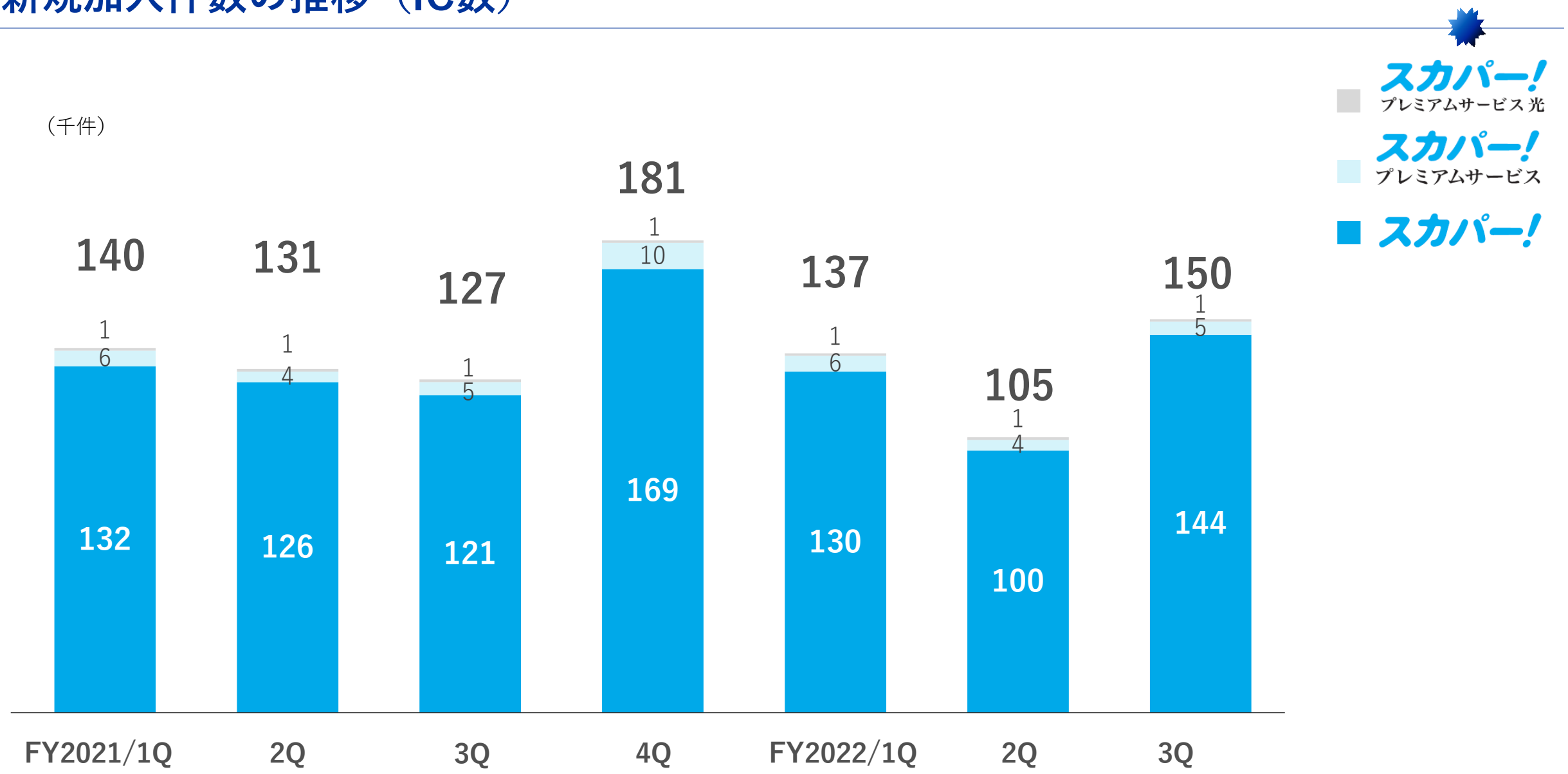
*2. 借入金＋無担保社債

主要指標（メディア事業）



	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	2022年度 加入目標
新規（IC数：万件）	39.8	39.2	57.2
純増数（IC数：万件）	△10.9	△14.5	△9.5
（スカパー！）	（△4.3）	（△8.7）	（△0.5）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△6.3）	（△5.3）	（△8.4）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.3）	（△0.3）	（△0.6）
累計加入件数（IC数：万件）	299.3	286.4	291.3
累計契約者数（契約者数：万件）	238.5	225.0	227.1
光再送信サービス接続世帯数（万件）	251.0	260.6	264.2
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,336	3,338	—
スカパー！プレミアムサービス	3,579	3,538	
スカパー！プレミアムサービス光	5,124	5,067	

新規加入件数の推移（IC数）



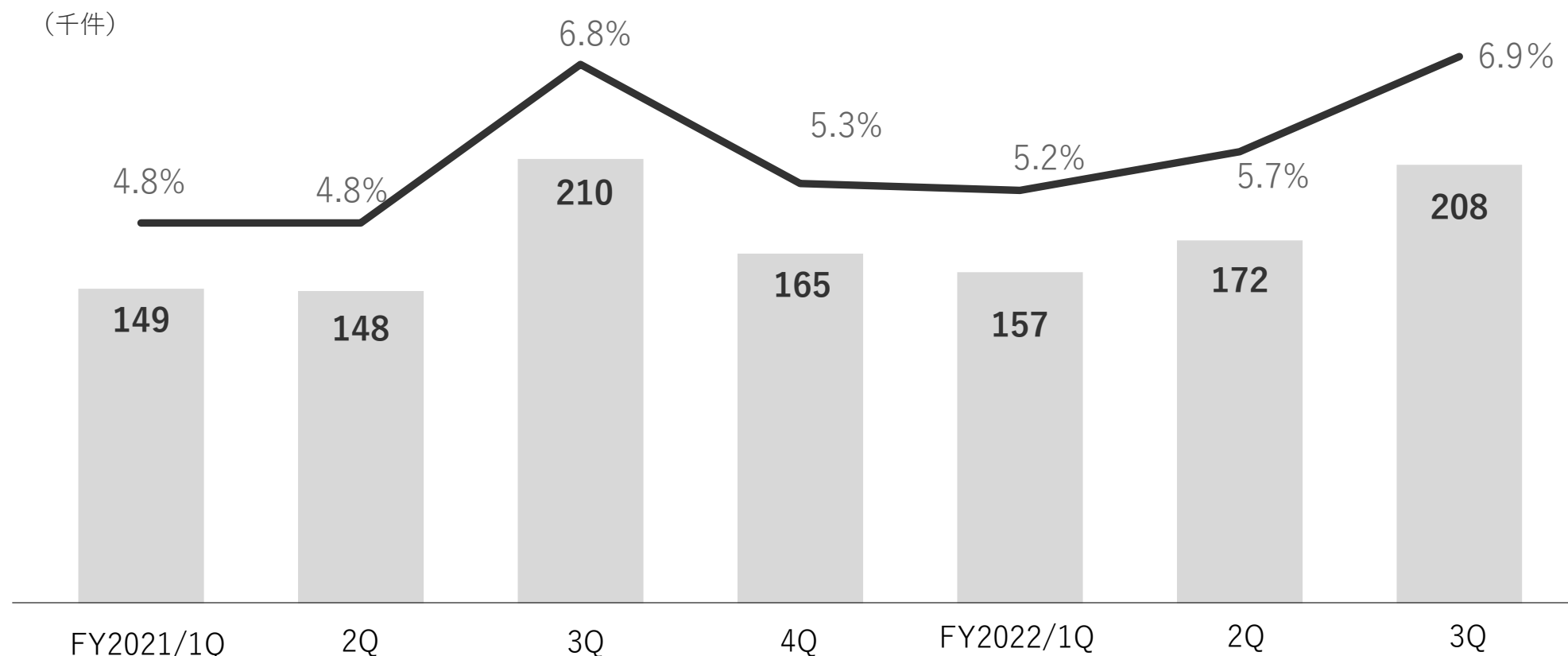
解約率の推移（IC数）



— 解約率 *（四半期毎）

■ 解約件数（千件）

注：すべてスカパー！合計



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価^{*1}



(円)

スカパー!

3,347

3,345

3,316

3,293

3,340

3,362

3,311

2,969

2,967

2,938

2,915

2,962

2,984

2,933

378

378

378

378

378

378

378

FY2021/1Q

2Q

3Q

4Q

FY2022/1Q

2Q

3Q

スカパー!
プレミアムサービス

3,607

3,587

3,540

3,490

3,559

3,562

3,491

3,173

3,153

3,107

3,058

3,128

3,131

3,061

434

434

433

433

431

431

430

FY2021/1Q

2Q

3Q

4Q

FY2022/1Q

2Q

3Q

スカパー!
プレミアムサービス 光

5,146

5,122

5,104

5,062

5,079

5,076

5,044

4,281

4,259

4,242

4,202

4,226

4,229

4,203

865

863

862

861

853

847

841

FY2021/1Q

2Q

3Q

4Q

FY2022/1Q

2Q

3Q

■ 基本料その他^{*2}

■ 視聴料

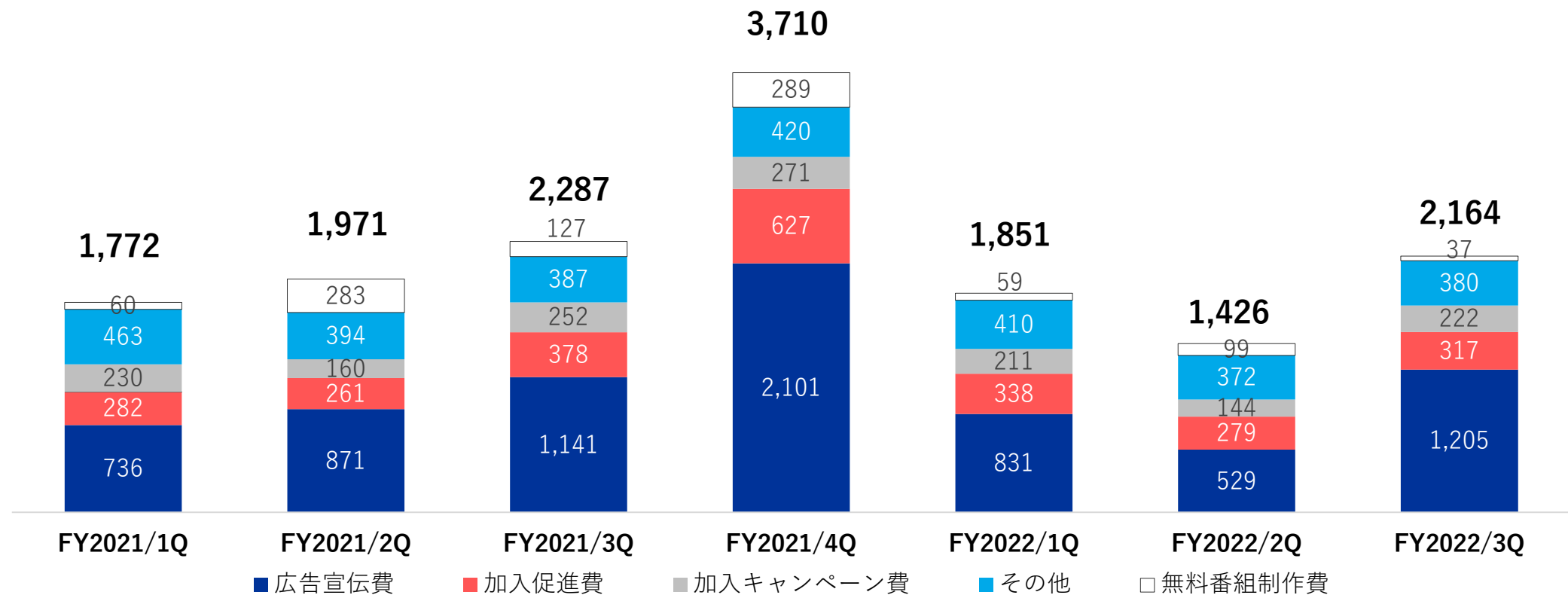
^{*1} 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー！では約30%を業務手数料、スカパー！プレミアムサービス、およびスカパー！プレミアムサービス光では、21年度から番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

^{*2} 基本料及びセットトップボックスレンタル料。

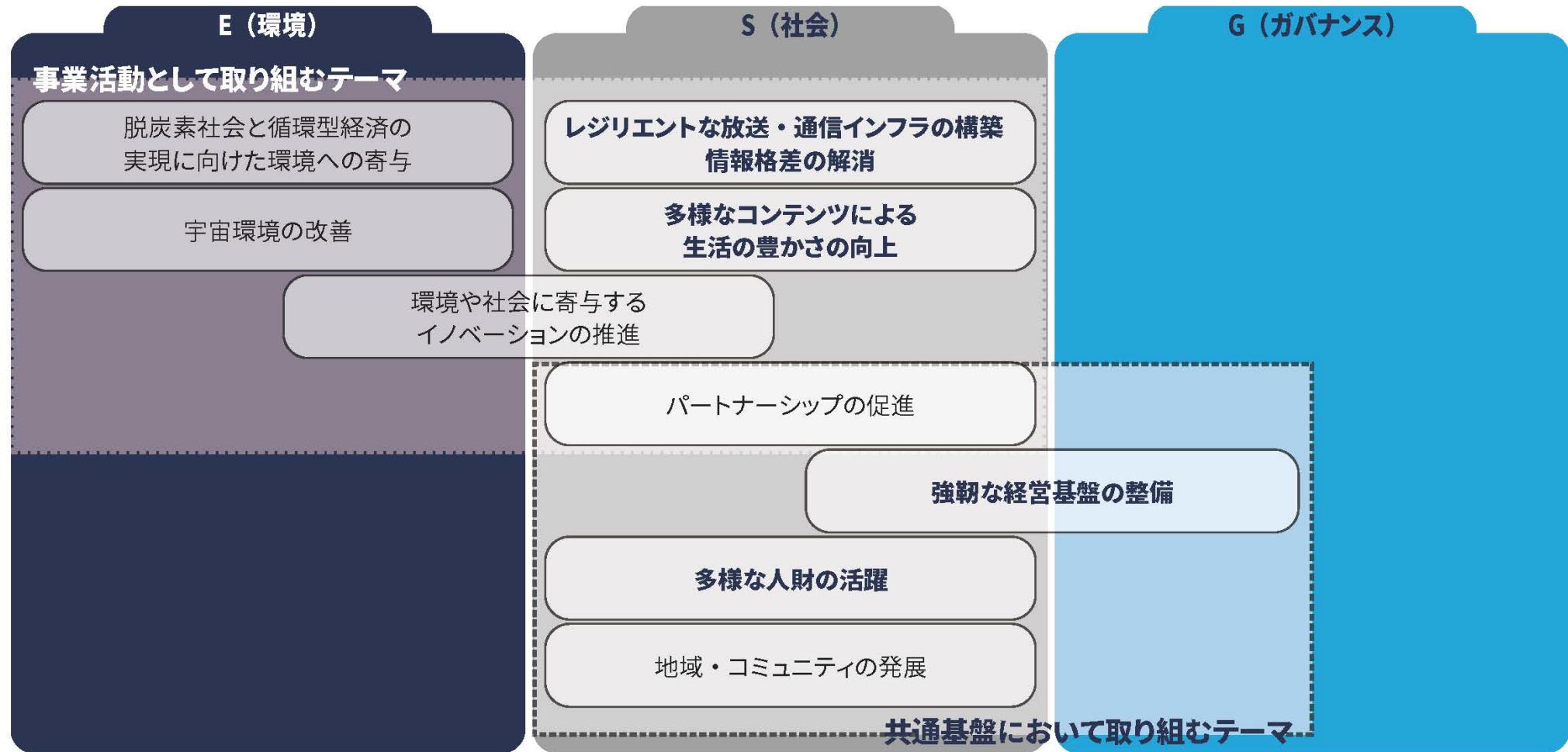
顧客獲得費用総額（SAC）

(百万円)



- 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
- 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ
- 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
- その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等
- 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用

9つの重要課題（マテリアリティ）テーマ

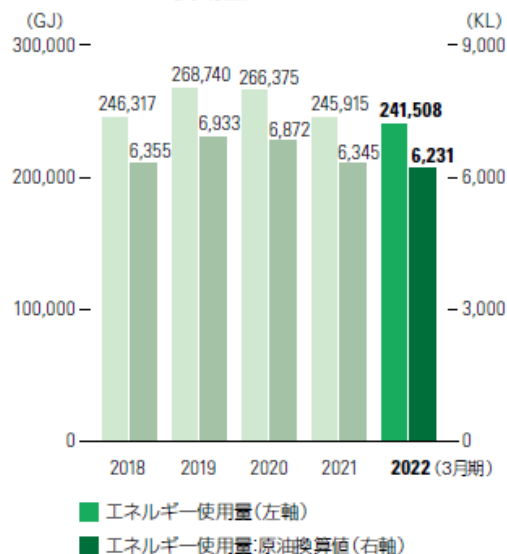


当社グループのサステナビリティ詳細は、こちらをご覧ください。
<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/>

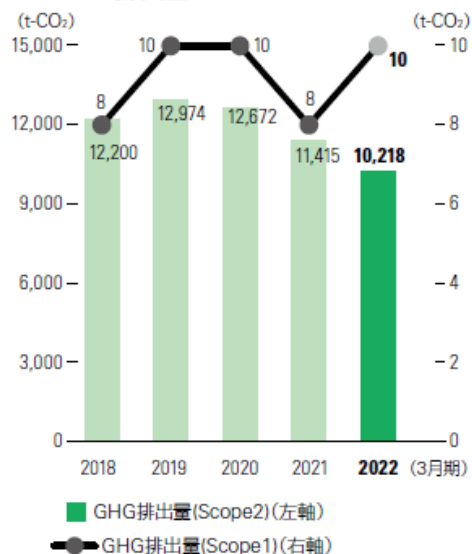




エネルギー使用量



GHG排出量

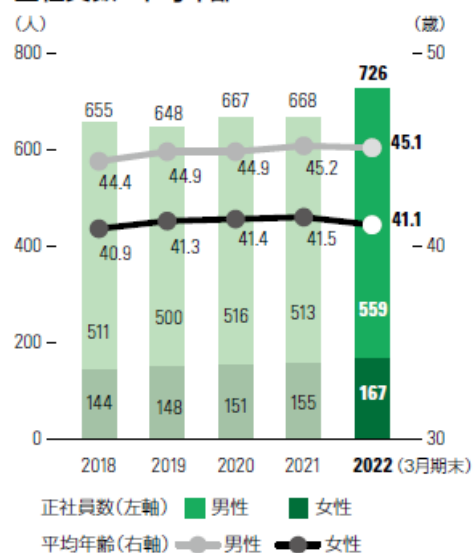


廃棄物総排出量

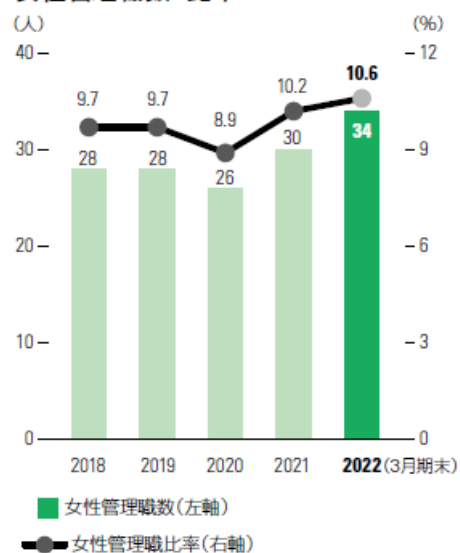
2022年3月期(2021/4/1~2022/3/31) (t)	
産業廃棄物等総排出量計	95.917
一般廃棄物等総排出量計	54.594
総排出量合計	150.511

Scope1: 温室効果ガスの排出源からの直接的な大気中への温室効果ガスの排出量
Scope2: 他者から供給を受けた電気、熱の利用により発生した電気、熱の生成段階でのCO₂排出量
(サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(環境省・経済産業省))
GJ(ギガジュール:エネルギー量の単位)、t-CO₂(重量トン:エネルギー使用量をCO₂基準で換算して重量表示)

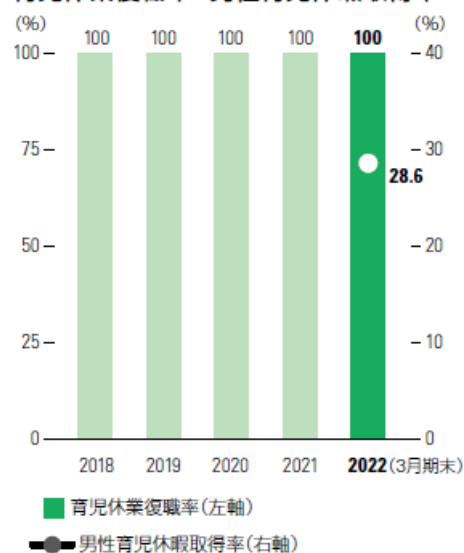
正社員数・平均年齢



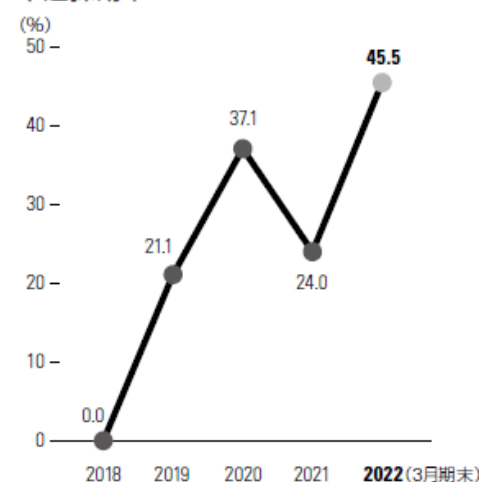
女性管理職数・比率



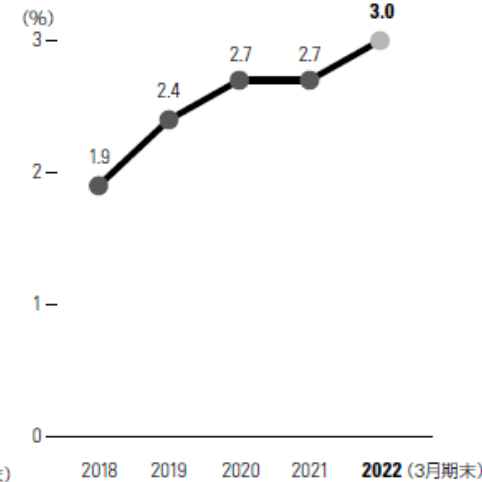
育児休業復職率・男性育児休暇取得率



中途採用率



障がい者雇用率



Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

